

No. 1

議会事務局

令和 6 年 2 月 1 6 日 受付

処 理 欄

質 問 順 位 第 3 番

令和 6 年 2 月 1 6 日

南 知 多 町 議 会 議 長 殿

南 知 多 町 議 会 議 員

服 部 光 男

一 般 質 問 通 告 書

質 問
事 項

質問の要旨（詳細・具体的に記入）

希 望
答 弁 者

一
地 震 の 発 生 に 備 え た 防 災 対 策 の 強 化 に つ い て

2024 年 1 月 1 日、能登地方を震源とするマグニチュード 7.6、最大震度 7 を記録する大地震が発生しました。この地震により、1 月 31 日の時点で、死者 238 人、避難者は約 14,600 人を超える大惨事となっています。今回の地震については、当初の被害想定が死者 7 人、避難者予測が 2,781 人で、実際の被害としては、被害想定を大幅に上回る状況となっています。

家屋の倒壊や道路の損傷により孤立する集落も多い中、外部からの支援が遅いように報じられていますが、その原因の一つが半島という地形によるものも大きいと言われてしています。

南知多町も半島の先端にあり、同様な問題を抱えていると思われる。

この地震を教訓に、今後の防災対策の強化を図り、地震災害が来る前にできること、しなければいけないことなど、南知多町の準備態勢について質問する。

備える、能登半島地震を教訓に

- 1 ハザードマップを 3D 化し、地震や津波などの避難ルートや避難所の位置・情報などを、誰にでもわかりやすくして、町民はもちろん、観光客、帰省客、外国人の方たちにも一目で理解してもらえるツールを早急に整備すべきと考えるが、その準備はあるのか。

町長・副町長・教育長・関係部課室長

質 問 事 項	質問の要旨（詳細・具体的に記入）	希 望 答 弁 者
	<p>2 災害情報の収集及び発信体制について、DX体制の整備は不可欠である。また、災害時の通信状況の確保も大変重要である。今回の能登半島地震の際にKDDIの「スターリンク」の活用により、避難所などでのWi-Fi整備などの運用実績も好評であった。このように通信の確保など事前の対応は急務であるが、導入の検討はできるのか。</p> <p>3 災害時の職員の配備について質問する。今回の能登半島地震である地域では、災害発生1日目に駆けつけることができた職員は全体の2～3割だったそうです。南海トラフクラスの災害を想定した場合、南知多町で集まることができる職員は何人くらいと見込んでいるのか。これは、職員も被災者になりうると想定したうえでお答えください。</p> <p>4 災害時の職員の役割について質問する。災害発災から復旧・復興までに職員が関わる仕事は多すぎる。避難所運営からインフラの被災状況調査、情報収集・発信、復旧指示、ボランティア受付、がれき処理、ごみ受付、建物の応急危険度判定、罹災証明の発行などなどがあり、さらにどの作業にも迅速さが求められる。全国からの支援が来るまでとしても、体制は組めるのか。</p> <p>5 職員の派遣の状況について。能登半島地震の応援に全国の自治体から、職員の応援・派遣をしています。南知多町からの派遣はどの地域にどのような形で行っているのか。又は事前に決まっているのか。</p> <p>6 避難所運営について、避難所開設の迅速化及び負担軽減のために、誰でも簡単に、確実に避難所を開設できるようにしたものが「避難所開設BOX」です。しかし事前に訓練をすることで、より確実な行動に繋がります。このツールを使った訓練を、全職員及び地域の区長さんたちにも参加していただき実施はできないか。</p>	<p>町長・副町長・教育長・関係部課室長</p>

質 問 事 項	質問の要旨（詳細・具体的に記入）	希 望 答 弁 者
	<p>7 能登半島は当初被害想定が低かったため避難所での備蓄品、毛布、ストーブなどの備えも全体に少なかったようだ。わが町の備蓄品の中で夏の扇風機、冬のストーブ、灯油などの準備は万全か。</p> <p>8 陸路確保のための広域支援について質問する。能登半島地震で救援が遅れた一因として、陸路に限られる半島特有の地形だと言われているが、知多半島北部からの支援ルートを確認するためにも、道路のインフラ整備を最優先とすべきと考えるが、そのような準備はできているのか。</p> <p>9 支援ルートの多様化として、海路からのアクセス整備も必要である。両島も含め、各港の耐震に関する整備はどのような状況か。</p> <p>10 自衛隊の支援について質問する。陸路が閉ざされていて、なおかつ港の使用もできない時の対応の追加策として、能登半島地震で海上自衛隊のL C A Cが支援物資や重機などを搬入した実績もある。砂浜からの乗り入れとしては、海水浴場からの搬入アクセスの整備も検討すべきと考えるが、知多半島への支援として、事前の訓練をお願いすることはできないのか。</p> <p>11 自衛隊の協力体制について、被災者の救出等、自衛隊の活躍は国民として頼もしい限りであるが、自治体から自衛隊への支援要請の仕組みを教えてほしい。</p> <p>12 わが町の被災したときの応急対策期において、他の自治体から本町への職員派遣の要請はどのような流れで行うのか。</p>	<p>町長・副町長・教育長・関係部課室長</p>

質問 事項	質問の要旨（詳細・具体的に記入）	希望 答弁者
一 発災後の地域整備について	<p>能登半島地震では、災害後の復旧が遅れたことが、被害者の生活に大きな影響を与えました。そのため、この地域でも災害復旧計画の策定を徹底し、災害復旧・復興の財政的支援体制の整備、その他支援体制の整備を進めることで、災害後の迅速な復旧・復興を可能にする必要があります。そこで以下の質問をする。</p>	町長・副町長・教育長・関係部課室長
	<p>1 南海トラフでの地震・津波の被害を想定した場合、町内で孤立する地域、規模はどのくらいだと予想しているのか。</p>	
	<p>2 ドローンの有益性は道路の破損状況、通行の可否などを事前に早く調べることができ、医師団などが早期に駆けつけるための有効なツールである。以前のドローンに関する質問でも、春日井の事業者と提携していて、自己保有は考えていないとの答弁であったが、保有しないで道路などの状況により支援が遅れた場合、「72時間の壁」といわれる初期対応が遅れ、人的被害が大きくなることなどは考えていないのか。</p>	
	<p>3 町内の土木業者などによる道路の確保、瓦礫処理のため、重機の確保の状況は把握しているのか。</p>	
	<p>4 瓦礫と化した住宅を排除するためには所有者の同意が必要だが、通行確保のための道路上の瓦礫の撤去については同意が必要か。</p>	
	<p>5 近いうちに南海トラフの被害想定の見直しがあると聞いているが、町はどのように考えているのか。</p>	
	<p>6 災害により住居が全壊、全流出、全焼した住宅に居住していた住人に対し、短期的に暮らす応急仮設住宅というのがあるが、その後の復興に向けて恒久的に暮らすことが可能な賃貸住宅として災害公営住宅の建設に関しての検討をしているのか。</p>	

